

2024年12月26日

各位

平和不動産株式会社

## 街回遊型アートエキシビジョンイベント 「Kabutocho Art Week」を日本橋兜町で開催 街の各所で Essential Store の所蔵品やファイバーアートを展示

平和不動産株式会社（本店：東京都中央区、代表執行役社長：土本 清幸、以下「当社」）とメディアサーフコミュニケーションズ株式会社（本店：東京都中央区、代表取締役社長：松井明洋）は、2025年1月17日（金）～1月26日（日）の10日間にて、街回遊型アートエキシビジョンイベント「Kabutocho Art Week」を開催いたします。

第1回目となる本イベントは、大阪市福島区に不定期にオープンする、アンティークや古道具を主として扱う Essential Store のオーナー田上拓哉氏（※1）と、江戸期から昭和初期の「図案にまつわる物」を展示する大阪市浪速区の”日本図案館“のオーナー山田真也氏（※2）によって、2024年に発足した日本文化遺産の保全活動を主眼として文化の継承と発展を研究し発表する「文化海」を招致し、選りすぐりの逸品を街の各所に展示します。

2015年から2024年の10年間の蒐集品とともに、出会いからつながる時間を越えた共有を、ここ日本橋兜町で体感ください。



## ※1 田上拓哉 - Essential Store

大阪市福島区の Essential Store オーナー。アパレル / 繊維メーカーも運営しながらアンティーク、古道具を主として取り扱う Essential Store を不定期にて開催。独自の入札方法で行われる「Essential Silent Auction®」は、モノの価値を再考する仕組みとして確立している。近年は空間デザイン、プロダクションデザインの領域でもその確かな審美眼を発揮している。

[https://www.instagram.com/essential\\_store](https://www.instagram.com/essential_store)

## ※2 山田真也 - 日本図案館 / Zuan Museum

大阪市浪速区の日本図案館オーナー。明治期の図案革新文化から生まれた木版画の図案集を中心に、江戸期から昭和初期の「図案にまつわる物」を展示し、日本で発展した様々な文化において表現された美的感覚、抽象感覚、色彩感覚等を、「実物を観る」という行為から得られる実感と体験を通して共有する資料館として注目を集めている。

<https://www.instagram.com/zuanmuseum/>

## Kabutocho Art Week とは

2020年2月に開業したマイクロ複合施設「K5」を皮切りに、個性豊かな店舗や施設の開業が続く日本橋兜町。当社は、規模の大小にかかわらず、多彩な個性やクリエイティビティの高い事業者とタッグを組み、他の街にはない特徴のある街づくりを進めてきました。

そんな日本橋兜町を舞台に、この度初めて街回遊型アートエキシビジョンイベント「Kabutocho Art Week」を開催いたします。

街を一つのアートギャラリーと見立て、街の各所にアート作品を展示。展示する作品は、Essential Store や日本図案館の所蔵品や、1970年代以降世界的に起こった繊維を素材とした立体造形・ファイバーアート（※3）の日本の第一人者である草間喆雄氏や熊井恭子氏の作品など、ここでしか見られない希少な作品ばかりです。

会場に展示されるアートは、Essential Silent Auction®による入札形式で販売をいたします。現場で競り合う一般的なオークションとは異なり、あくまでも個人の価値感に重点を置いた“競り合わないオークション”。開催期間中は好きな価格を自分で決め入札用紙に記入し入札することができ、入札期間終了後、連絡が届いた人が購入できるというシステムであり、「モノの価値を再考する場所」と言われています。

K5を始め、街に多数残る歴史的な建造物に新たな価値を創ってきたこの日本橋兜町で、従来の大型アートイベントとは異なる新しいアートエキシビジョンイベントをお楽しみください。

イベント情報は、特設サイト内にて随時更新されていきます。

特設サイト：<http://culutralwaves.com/>

## ※3 ファイバーアート

ファイバーアートの起源は1950年代末から1960年代初頭に遡る。アメリカやヨーロッパの織り作家やタペストリー作家が2次元的な織りや編みの表面の3次元化を試み、次第に他ジャンルのファブリックアーティストや工芸家も参画するようになっていく。表現の限界を探求し、実験的でありながらも創造性に富んだ作品が次々と発表されていった。欧米のファイバーアートに大きな影響を与えたとされるアジア地域のテキスタイル- 特に日本固有の染色、織物、文様などが取り入れられる一方で、日本人アーティストたちは伝統を重んじながらも自らの表現方法や技法をより追求することで新

たな地平を切り開いていくようになる。モニュメンタルな空間構成などにも表現領域を広げ、日本現代美術の中でも重要な位置を占めていたムーブメントである。

## アート作品展示会場

展示会場	営業時間
景色 AA (中央区日本橋兜町 6-5) ★メイン会場	12:00-20:00
KABUTO ONE 1F アトリウム (中央区日本橋兜町 7-1)	12:00-20:00
株式会社白水社「Hakusuisha B1F」(中央区日本橋兜町 5-1)	平日 12:00-17:00 土日 12:00-18:00
日証館 1F エントランス (中央区日本橋兜町 1-10)	12:00-19:00

## イベント概要

イベント名：Kabutocho Art Week

期 間：2025年1月17日(金)～1月26日(日)(10日間)

主 催：平和不動産株式会社、メディアサーフコミュニケーションズ株式会社

企 画：文化海、Essential Store、Somewhere in Tokyo

会 場 協 力：株式会社白水社、山種不動産株式会社、ちばぎん証券株式会社

協 力：日本音響株式会社、株式会社増田徳兵衛商店、堀田カーペット株式会社

特設サイト：<http://culuturalwaves.com/>

## 日本橋兜町・茅場町 街づくりビジョン 2040

NIHONBASHI KABUTOCHO & KAYABACHO VISION 2040

**投資を、そして感性を一步先へ。**  
**この街から、新しい風を。**

渋沢栄一らがひらいた株式マーケットの街は、  
日本経済の中心で歴史を紡いできた。  
この街がまとう「コトはじめ」の文化を未来につないでいくために、  
これからの日本橋兜町・茅場町は、投資と成長をライフスタイルに変えていく。  
金融をアップデートし、国内随一のインベストメント・シティへ。  
そして、さらにひろがりのある街へ。  
もっと投資をカジュアルに、もっと街をカラフルに。  
多彩な個性が行き交い、クリエイティビティが高まる。  
化学反応が起こり、大小さまざまなイノベーションが生まれる。  
ビジネスだって、遊びだって楽しめる場を、みんなで作ろう。  
人々の感性を刺激する、世界のどこにもない場づくりを、この街から。

## ● 日本橋兜町・茅場町 情報発信サイト

Kontext : <https://kontext.jp/>兜 LIVE! : <https://kabuto-live.com/>FinGATE : <https://www.fingate.tokyo/>

## | 会社概要

当社は、我が国の金融マーケットの中核的機能・役割を担う東京、大阪、名古屋、福岡等の証券取引所ビルのオーナーとして、1947年に設立され、場づくりを積み重ねることで街を彩ってきました。平和不動産グループの仕事に共通する根源的な価値は、さまざまな場づくりを通して、人々を惹きつけ未来に豊かさをもたらすこと。私たちはグループ一丸となって、魅力的な場づくりを展開します。

会 社 名：平和不動産株式会社

設 立 日：1947年7月

代 表 者：代表執行役社長 土本 清幸

本社所在地：東京都中央区日本橋兜町1番10号

会 社 HP：<https://www.heiwa-net.co.jp/>

以 上

## 本件に関するお問い合わせ先

平和不動産株式会社

総務部 広報・ブランディング推進室 TEL：03-3666-0182

地域共創部 TEL：03-3666-0323